

哲学・思想専攻

専攻共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DBS19	哲学・思想プロジェクト演習(1)A	2	1.0	1-5				受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2023年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)
02DBS20	哲学・思想プロジェクト演習(1)B	2	1.0	1-5				受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2023年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)
02DBS21	哲学・思想プロジェクト演習(2)A	2	1.0	1-5				受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2024年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)
02DBS22	哲学・思想プロジェクト演習(2)B	2	1.0	1-5				受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2024年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)
02DBT21	哲学・思想プロジェクト演習(3)A	2	1.0	1-5				受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2025年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)
02DBT22	哲学・思想プロジェクト演習(3)B	2	1.0	1-5				受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2025年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)
02DBT23	哲学・思想プロジェクト演習(4)A	2	1.0	1-5	春学期	応談	木村 武史, 橋本 康二, 井川 義次, 津崎 良典, 檜垣 良成, 千葉 建, 志田 泰盛, 土井 裕人, 太田 紘史, 横山 剛	受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2026年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)
02DBT24	哲学・思想プロジェクト演習(4)B	2	1.0	1-5	秋学期	応談	木村 武史, 橋本 康二, 井川 義次, 津崎 良典, 檜垣 良成, 千葉 建, 志田 泰盛, 土井 裕人, 太田 紘史, 横山 剛	受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2026年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)
02DBT25	哲学・思想プロジェクト演習(5)A	2	1.0	1-5				受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2022年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)
02DBT26	哲学・思想プロジェクト演習(5)B	2	1.0	1-5				受講生各自が哲学・倫理学・宗教学に関する研究計画を自主的に立て、それを遂行し、その成果を内外の研究会や学会で発表する。	2022年度より4年おき開講。 対面(オンライン併用型)

哲学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DBG51	哲学原論演習(3)B	2	1.0	1-2	秋AB	応談	橋本 康二	毎回の授業では、1名の受講生が、自分で研究テーマを設定し、ハンドアウトを準備して配布した上で、1時間程度の発表を行う(他の哲学原論演習で発表した履修者は別内容で発表しなければならない)。その内容を受けて、担当教員と全受講生によるディスカッションをおこなう。	分析哲学を専攻する大学院生に限る 西暦偶数年度開講。 OABAA05と同一。 対面(オンライン併用型)
02DBG54	現代哲学I演習(3)A	2	1.0	1-2	春AB	火6	橋本 康二	英米系の現代哲学(分析哲学)の代表的な著作・論文を読みながら、現代哲学の諸問題を検討する。取り上げる著作・論文は年度によって異なる。	西暦偶数年度開講。 OABAA24と同一。 対面(オンライン併用型)
02DBG57	現代哲学II演習(3)A	2	1.0	1-2	春AB	木2	横山 幹子	本授業科目は演習科目であり、「情報の哲学」・「知識の哲学」をテーマとし、その問題を扱っている著作・論文を輪読し、そこで扱われている諸問題を検討する。本年度はフロリディの著作等を扱う予定である。	西暦偶数年度開講。 OABAA34と同一。 対面
02DBG58	現代哲学II演習(3)B	2	1.0	1-2	秋AB	木2	横山 幹子	本授業科目は演習科目であり、「情報の哲学」・「知識の哲学」をテーマとし、その問題を扱っている著作・論文を輪読し、そこで扱われている諸問題を検討する。本年度はフロリディの著作等を扱う予定である。	西暦偶数年度開講。 OABAA35と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DBG61	東洋哲学(3)A	1	1.0	1・2	春AB	金4	井川 義次	講義形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて説明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯11に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦偶数年度開講。 OABAA50と同一。 対面
02DBG62	東洋哲学(3)B	1	1.0	1・2	秋AB	金4	井川 義次	講義形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて説明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯2に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦偶数年度開講。 OABAA51と同一。 対面
02DBG65	東洋哲学演習(3)A	2	1.0	1・2	春AB	金5	井川 義次	演習形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について説明する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて説明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯11に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦偶数年度開講。 OABAA54と同一。 対面
02DBG66	東洋哲学演習(3)B	2	1.0	1・2	秋AB	金5	井川 義次	演習形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について説明する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて説明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯2に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦偶数年度開講。 OABAA55と同一。 対面
02DBG69	西洋哲学I(3)A	1	1.0	1・2	春AB	水1	檜垣 良成	西洋近代哲学の古典を読みながら、西洋理論哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得することを旨とする。そのために、カントの『純粋理性の批判』周辺のテキストを読み、理性と経験についての理解を深めることを通じて理論哲学の諸問題と対決する。	西暦偶数年度開講。 OABAA70と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DBG70	西洋哲学I(3)B	1	1.0	1・2	秋AB	水1	檜垣 良成	西洋近代哲学の古典を読みながら、西洋理論哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得することを旨とする。そのために、カントの『純粋理性の批判』周辺のテキストを読み、物自体と現象についての理解を深めることを通じて理論哲学の諸問題と対決する。	西暦偶数年度開講。 OABAA71と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DBG73	西洋哲学I演習(3)A	2	1.0	1・2	春AB	火2	檜垣 良成	演習形態で西洋の実践哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得するために、西洋哲学の最重要古典の一つであるカントの『実践理性の批判』を読み、認識能力と欲求能力との区別についての理解を深めるとともに実践哲学の諸問題を検討する。	西暦偶数年度開講。 OABAA74と同一。 対面(オンライン併用型)
02DBG74	西洋哲学I演習(3)B	2	1.0	1・2	秋AB	火2	檜垣 良成	演習形態で西洋の実践哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得するために、西洋哲学の最重要古典の一つであるカントの『実践理性の批判』を読み、傾向性と純粋理性との区別についての理解を深めるとともに実践哲学の諸問題を検討する。	西暦偶数年度開講。 OABAA75と同一。 対面(オンライン併用型)
02DBG77	西洋哲学II演習(3)A	2	1.0	1・2	春C	火5,6	津崎 良典	近世ヨーロッパの哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世ヨーロッパ哲学の基本文献をラテン語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められ、かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦偶数年度開講。 OABAA84と同一。 対面(オンライン併用型)
02DBK51	哲学原論演習(4)B	2	1.0	1・2				毎回の授業では、1名の受講生が、自分で研究テーマを設定し、ハンドアウトを準備して配布した上で、1時間程度の発表を行う(他の哲学原論演習で発表した履修者は別内容で発表しなければならない)。その内容を受けて、担当教員と全受講生によるディスカッションをおこなう。	分析哲学を専攻する大学院生に限る 西暦奇数年度開講。 OABAA07と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DBK54	現代哲学I演習(4)A	2	1.0	1・2				英米系の現代哲学(分析哲学)の代表的な著作・論文を読みながら、現代哲学の諸問題を検討する。取り上げる著作・論文は年度によって異なる。	西暦奇数年度開講。 OABAA26と同一。 対面(オンライン併用型)
02DBK57	現代哲学II演習(4)A	2	1.0	1・2				本授業科目は演習科目であり、「情報の哲学」・「知識の哲学」をテーマとし、その問題を扱っている著作・論文を輪読し、そこで扱われている諸問題を検討する。取り上げる著作・論文は年度により異なる。	西暦奇数年度開講。 OABAA36と同一。 対面
02DBK58	現代哲学II演習(4)B	2	1.0	1・2				本授業科目は演習科目であり、「情報の哲学」・「知識の哲学」をテーマとし、その問題を扱っている著作・論文を輪読し、そこで扱われている諸問題を検討する。取り上げる著作・論文は年度により異なる。	西暦奇数年度開講。 OABAA37と同一。 対面
02DBK61	東洋哲学(4)A	1	1.0	1・2				講義形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて説明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』秦伯3に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。 OABAA52と同一。 対面
02DBK62	東洋哲学(4)B	1	1.0	1・2				講義形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて説明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』秦伯4に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。 OABAA53と同一。 対面
02DBK65	東洋哲学演習(4)A	2	1.0	1・2				演習形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について説明する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて説明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』秦伯3に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。 OABAA56と同一。 対面
02DBK66	東洋哲学演習(4)B	2	1.0	1・2				演習形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて説明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』秦伯4に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。 OABAA57と同一。 対面
02DBK69	西洋哲学I(4)A	1	1.0	1・2				西洋近代哲学の古典を読みながら、西洋理論哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得することを旨とする。そのために、カントの『純粋理性の批判』周辺のテキストを読み、感性的直観と純粋知性概念についての理解を深めることを通じて理論哲学の諸問題と対決する。	西暦奇数年度開講。 OABAA72と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DBK70	西洋哲学I(4)B	1	1.0	1・2				西洋近代哲学の古典を読みながら、西洋理論哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得することを旨とする。そのために、カントの『純粋理性の批判』周辺のテキストを読み、純粋理性のアンチノミーと超越論的哲学についての理解を深めることを通じて理論哲学の諸問題と対決する。	西暦奇数年度開講。 OABAA73と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DBK73	西洋哲学I演習(4)A	2	1.0	1・2				演習形態で西洋の実践哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得するために、西洋哲学の最重要古典の一つであるカントの『実践理性の批判』を読み、仮言的命法と定言的命法との区別についての理解を深めるとともに実践哲学の諸問題を検討する。	西暦奇数年度開講。 OABAA76と同一。 対面(オンライン併用型)
02DBK74	西洋哲学I演習(4)B	2	1.0	1・2				演習形態で西洋の実践哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得するために、西洋哲学の最重要古典の一つであるカントの『実践理性の批判』を読み、他律と自律との区別についての理解を深めるとともに実践哲学の諸問題を検討する。	西暦奇数年度開講。 OABAA77と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
02DBK77	西洋哲学II演習(4)A	2	1.0	1・2				近世ヨーロッパの哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世ヨーロッパ哲学の基本文献をラテン語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められ、かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦奇数年度開講。 OABAA86と同一。 対面(オンライン併用型)

倫理学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
02DBH54	現代倫理学演習(3)A	2	1.0	1・2	春C	木4,5	太田 紘史	自由意志および道徳的責任が、決定論や非決定論といった形而上学的脅威とどのように衝突しうるのかについて考える。日本語テキストの輪読を通じて係争点を学ぶことを基本として、適宜、英語文献の読解トレーニングを行う。	西暦偶数年度開講。 OABAAE4と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DBH55	現代倫理学演習(3)B	2	1.0	1・2	秋AB	金3	太田 紘史	人工知能に関わる多様な倫理的問題について検討する。授業は日本語テキストの輪読とディスカッションの形で進め、適宜英語文献を用いた演習も行う。	西暦偶数年度開講。 OABAAE5と同一。 オンライン(同時双方向型)
02DBH58	西洋倫理思想史演習(3)A	2	1.0	1・2	春AB	木5	千葉 建	倫理学の根本問題を扱った西洋近現代の著作を読解する。テキスト理解に必要な基本的概念、思想的背景知識、語学力の習得を目指す。テキストとしてはカント『道徳の形而上学』の「徳論への序論」の前半を取り上げる予定である。	西暦偶数年度開講。 OABAA64と同一。 対面
02DBH59	西洋倫理思想史演習(3)B	2	1.0	1・2	秋AB	木5	千葉 建	倫理学の根本問題を扱った西洋近現代の著作を読解する。テキスト理解に必要な基本的概念、思想的背景知識、語学力の習得を目指す。テキストとしてはカント『道徳の形而上学』の「徳論への序論」の後半を取り上げる予定である。	西暦偶数年度開講。 OABAA65と同一。 対面
02DBH64	日本倫理思想史(3)A	1	1.0	1・2	春AB	木3	常 瀨 琳	日本倫理思想史上の重要な文献を精読することで、典拠に当たりながらテキストを読み解く能力を身につけることを目指す。春学期は「日本」および「日本人」をめぐる思索をテーマにして、末木文美士・中島隆博編『日本の近代思想を読みなおす2 日本』(東京大学出版会、2024年)をテキストとして、演習形式で講読する。	西暦偶数年度開講。 OABAAH0と同一。 対面
02DBH65	日本倫理思想史(3)B	1	1.0	1・2	秋AB	木3	常 瀨 琳	日本倫理思想史上の重要な文献を精読することで、典拠に当たりながらテキストを読み解く能力を身につけることを目指す。秋学期は女性とジェンダーをテーマにして、水溜真由美『日本の近代思想を読みなおす4 女性/ジェンダー』などをテキストとして、演習形式で講読する。	西暦偶数年度開講。 OABAAH1と同一。 対面
02DBL54	現代倫理学演習(4)A	2	1.0	1・2				自由意志および道徳的責任が、決定論や非決定論といった形而上学的脅威とどのように衝突しうるのかについて考える。日本語テキストの輪読を通じて係争点を学ぶことを基本として、適宜、英語文献の読解トレーニングを行う。	西暦奇数年度開講。 OABAAE6と同一。 対面
02DBL55	現代倫理学演習(4)B	2	1.0	1・2				人工知能に関わる多様な倫理的問題について検討する。授業は日本語テキストの輪読とディスカッションの形で進め、適宜英語文献を用いた演習も行う。	西暦奇数年度開講。 OABAAE7と同一。 対面(オンライン併用型)
02DBL58	西洋倫理思想史演習(4)A	2	1.0	1・2				倫理学の根本問題を扱った西洋近現代の著作を読解する。テキスト理解に必要な基本的概念、思想的背景知識、語学力の習得を目指す。テキストとしてはカント『道徳の形而上学』「倫理学的原理論」の第一部を取り上げる予定である。	西暦奇数年度開講。 OABAA66と同一。 対面
02DBL59	西洋倫理思想史演習(4)B	2	1.0	1・2				倫理学の根本問題を扱った西洋近現代の著作を読解する。テキスト理解に必要な基本的概念、思想的背景知識、語学力の習得を目指す。テキストとしてはカント『道徳の形而上学』「倫理学的原理論」の第二部を取り上げる予定である。	西暦奇数年度開講。 OABAA67と同一。 対面
02DBL64	日本倫理思想史(4)A	1	1.0	1・2				日本倫理思想史上で重要な文献を精読することで、典拠に当たりながらテキストを読み解く能力を身につけることを目指す。春学期は丸山眞男の『忠誠と反逆—転換期日本の精神的位相』(筑摩書房、1998年)をテキストとして、演習形式で講読する。	西暦奇数年度開講。 OABAAH2と同一。 対面
02DBL65	日本倫理思想史(4)B	1	1.0	1・2				日本倫理思想史上で重要な文献を精読することで、典拠に当たりながらテキストを読み解く能力を身につけることを目指す。秋学期は和辻哲郎著・苅部直編『初稿倫理学』(筑摩書房、2017年)をテキストとして、演習形式で講読する。	西暦奇数年度開講。 OABAAH3と同一。 対面

宗教学・比較思想学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DBJ32	宗教学哲学(3)B	1	1.5	1-5	春季休業中	集中		近代ないし現代の宗教学に関する文献を講読し、解説を加えつつ、受講者とともにその内容について議論する。	教室の広さと受講希望者数によっては受講者数の上限を設定することもある
02DBJ60	宗教学I(3)A	1	1.0	1-2	春AB	水3	木村 武史	国内外における宗教研究における理論的・方法的問題について取り上げる。日本宗教史あるいは日本語文献を中心に読む。	西暦偶数年度開講。OABAAL0と同一。対面
02DBJ61	宗教学I(3)B	1	1.0	1-2	秋AB	水3	木村 武史	宗教学における神話研究の問題を取り上げる。特に、政治・権力と神話の関係に関わる諸問題を考察する。神話と象徴は政治権力に権威を与えるとともに、その権力の行使に正当性を付与する。また、社会における諸問題を隠蔽することもある。これらの諸問題を取り上げる。	西暦偶数年度開講。OABAAL1と同一。対面
02DBJ64	宗教学I演習(3)A	2	1.0	1-2	春AB	水2	木村 武史	宗教現象を多角的に取り上げる視点を身に付け、多様な宗教現象に関わる資料の読解力を身に付ける。英語の文献を読む。	西暦偶数年度開講。OABAAL4と同一。対面
02DBJ65	宗教学I演習(3)B	2	1.0	1-2	秋AB	水2	木村 武史	宗教現象を多角的に取り上げる視点を身に付け、多様な宗教現象に関わる資料の読解力を身に付ける。英語の文献を読む。	西暦偶数年度開講。OABAAL5と同一。対面
02DBJ72	宗教学実習(3)	3	2.0	1-2	春C	集中	木村 武史	現代日本社会における伝統宗教の現状を实地調査を通して、宗教現象の実情に触れる。下記の一連の流れを通して、实地調査をする。(事前学習 实地調査 報告会 報告書作成)	西暦偶数年度開講。OABAAPAと同一。対面
02DBJ75	宗教思想史I(3)A	1	1.0	1-2	春AB	火6	志田 泰盛	11~12世紀に書かれたインド仏教知識論の綱要書を原典講読し、その基本概念を理解するとともに、サンスクリットで書かれた哲学書の読解方法を学ぶ。モークシャーカラグプタ著『論理のこぼ』(第1章)を読みながら、仏教知識論における認識論の基本概念を解説する。	西暦偶数年度開講。OABAAR0と同一。対面
02DBJ76	宗教思想史I(3)B	1	1.0	1-2	秋AB	火6	志田 泰盛	11~12世紀に書かれたインド仏教知識論の綱要書を原典講読し、その基本概念を理解するとともに、サンスクリットで書かれた哲学書の読解方法を学ぶ。モークシャーカラグプタ著『論理のこぼ』(第2章)を読みながら、仏教知識論における推理論の基本概念を解説する。	西暦偶数年度開講。OABAAR1と同一。対面
02DBJ87	宗教思想史II演習(3)A	2	1.0	1-2	春AB	木6	横山 剛	サンスクリット語等で記された原典、ならびに関連する諸研究の読解を通じて、インド仏教の思想を学ぶ。特に説一切有部の文献と思想を対象とする。	人社会学棟B806で実施 西暦偶数年度開講。OABAAS4と同一。対面
02DBJ88	宗教思想史II演習(3)B	2	1.0	1-2	秋AB	木6	横山 剛	サンスクリット語等で記された原典、ならびに関連する諸研究の読解を通じて、インド仏教の思想を学ぶ。特にインド仏教最後期に属する綱要書とそこで紹介される諸々の教理を対象とする。	西暦偶数年度開講。OABAAS5と同一。対面
02DBJ91	宗教思想史III(3)A	1	1.0	1-2	春AB	木5	平野 貴大	シーア派の第二聖典であるハディース集の読解を通じて、シーア派を中心にイスラーム思想を考察する。シーア派の中で最も権威あるクライニー(941年没)のハディース集のアラビア語原典と英訳、日本語訳を配布し読解する。	西暦偶数年度開講。OABAAT0と同一。対面(オンライン併用型)
02DBJ92	宗教思想史III(3)B	1	1.0	1-2	秋AB	木5	平野 貴大	シーア派の第二聖典であるハディース集の読解を通じて、シーア派を中心にイスラーム思想を考察する。シーア派の中で最も権威あるクライニー(941年没)のハディース集のアラビア語原典と英訳を配布し読解する。秋学期は前期の続きから進めることとする。	西暦偶数年度開講。OABAAT1と同一。対面(オンライン併用型)
02DBM60	宗教学I(4)A	1	1.0	1-2				国内外における宗教研究における理論的・方法的問題について取り上げる。日本宗教史あるいは日本語文献を中心に読む。	西暦奇数年度開講。OABAAL2と同一。対面
02DBM61	宗教学I(4)B	1	1.0	1-2				宗教学における神話研究の問題を取り上げる。特に、政治・権力と神話の関係に関わる諸問題を考察する。神話と象徴は政治権力に権威を与えるとともに、その権力の行使に正当性を付与する。また、社会における諸問題を隠蔽することもある。これらの諸問題を取り上げる。	西暦奇数年度開講。OABAAL3と同一。対面
02DBM64	宗教学I演習(4)A	2	1.0	1-2				宗教現象を多角的に取り上げる視点を身に付け、多様な宗教現象に関わる資料の読解力を身に付ける。宗教現象学に関連する古典的著作を読み解く。オットー、エリアーデなどの著作を読解する。	西暦奇数年度開講。OABAAL6と同一。対面
02DBM65	宗教学I演習(4)B	2	1.0	1-2				宗教現象を多角的に取り上げる視点を身に付け、多様な宗教現象に関わる資料の読解力を身に付ける。宗教社会学に関連する古典的著作を読み解く。デュルケム、ウェーバーなどの著作を取り上げる。	西暦奇数年度開講。OABAAL7と同一。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
02DBM72	宗教学実習(4)	3	2.0	1・2				現代社会における新宗教の現状を实地調査を通して学ぶ。宗教現象の実情に触れる。下記の一連の流れを通して、实地調査をする。(事前学習 实地調査 報告会 報告書作成)	西暦奇数年度開講。 OABAAPBと同一。 対面
02DBM75	宗教思想史I(4)A	1	1.0	1・2				インド古典のサンスクリット語原典の哲学文献を講読する。原典については、可能な限り写本等の一次資料も参照し、文献実証的な精読を心がける。サンスクリット語の語学力を養うと同時に、哲学的考察力、議論する力を磨く。	西暦奇数年度開講。 OABAAR2と同一。 対面
02DBM76	宗教思想史I(4)B	1	1.0	1・2				引き続き、インド古典のサンスクリット語原典の哲学文献を講読する。古典テキストの批判校訂の方法論についてはインド学以外の方法論も吟味する。サンスクリット語の語学力を養うと同時に、テキスト校訂の手法、議論する力を磨く。	西暦奇数年度開講。 OABAAR3と同一。 対面
02DBM87	宗教思想史II演習(4)A	2	1.0	1・2				サンスクリット語等で記された原典、ならびに関連する諸研究の読解を通じて、インド仏教の思想を学ぶ。特に大乘中観派の文献と思想を対象とする。	西暦奇数年度開講。 OABAAS6と同一。 対面
02DBM88	宗教思想史II演習(4)B	2	1.0	1・2				サンスクリット語等で記された原典、ならびに関連する諸研究の読解を通じて、インド仏教の思想を学ぶ。特に大乘瑜伽行派の文献と思想を対象とする。	西暦奇数年度開講。 OABAAS7と同一。 対面
02DBM91	宗教思想史III(4)A	1	1.0	1・2				シーア派の第二聖典であるハディース集の読解を通じて、シーア派を中心にイスラーム思想を考察する。シーア派の中で最も権威あるクライニー(941年没)のハディース集のアラビア語原典と英訳を配布し読解する。	西暦奇数年度開講。 OABAAT2と同一。 対面(オンライン併用型)
02DBM92	宗教思想史III(4)B	1	1.0	1・2				シーア派の第二聖典であるハディース集の読解を通じて、シーア派を中心にイスラーム思想を考察する。シーア派の中で最も権威あるクライニー(941年没)のハディース集のアラビア語原典と英訳を配布し読解する。秋学期は前期の続きから進めることとする	西暦奇数年度開講。 OABAAT3と同一。 対面(オンライン併用型)